

平成26年5月6日

No.119

(やること)

私は、小中学校時代、将来の事など何も思わなかった。平凡に一日がたつてたいてい過ぎていく生活をしていました。頑張る、何かをやったり努力したり、最後までやり続けたと満足感を得たこともありません。そろばん、学習塾、クラブ活動といくつかのことでやめていきました。思えば、最後まで続けたものはいくつか、義務教育である小、中学校を卒業したことで止まりました。勉強に運動に頑張る、努力するわけでもなく、常に怠けていたので、成績も中くらい、目標もありませんでしたので、近くの高校へ進学出来ず、思いを捨てたが、この学校への進学は、今の成績では厳しいと先生から言われ、ランクを落し合格出来る茨城東校に入学。高専高校でありましたので、ここで今の仕事等記に出会ったが、目標もありませんでしたので、高校も流石の時に明が過ぎました。まだ働きたくありませんでしたので無謀に大学受験結果は不合格となり、お金もないため就職となり等記の成績は良かったため、会計事務所を紹介され、かたはく就職しました。目標もたたく、努力、積み重ねる、繰り返す、やれば必ず出来る、達成感を感じたこともなく、やれば出来ることまで気づきませんでした。すぐ諦め<sup>あきら</sup>めました。

成績が良いといふ自信もなく、希望校にも行けず、将来の途限肢の狭まらります。今何をやるべきか気づき、学生なら、トイトン勉強に運動、多くの事に興味を持つ。時間を大事に有効に使う。気づく、頑張る。

社会に入り、自分と競争相手だけでなく、お客様のかわり、より厳しくなり、達成感を感じ喜べる為には、私の子供、あの行動と違ふこと、「目標<sup>夢</sup>を持つ、興味を持つ、新しいことへの挑戦、学び、勉強する、諦めない、続ける、積み重ねる、負けてくらい、努力、頑張る、自信を持つ、分からないこと聞く勇氣、積極性、行動、実行」好むだと思っております。

経営者の人達、優秀な人達ばかりです。学び、めんどくさいこと、皆ながらやらないことをやっていると、必ず何かがついてきます。子供の頃勉強しておいたこと、悔が残っている、これから悔が残らない為に。高林幸裕